

結いの心

地域みんなで結ぶ大きな絆

令和4年4月号

木城町自治公民館連絡協議会

自治公民館活性化支援員 大津 新

令和4年度活動スタート

春、各地区での自治公民館活動がスタートしました。また、22日（金）には、各地区公民館長にご出席いただき、自治公民館長会及び自治公民館連絡協議会総会を開催し、町全体の自治公民館活動もスタートしました。総会では、町全体の活動推進役となる新たな役員が選出されました。



会長
杉田 博さん
(御池)



副会長
西 有一郎さん
(岩淵)



副会長
中竹義一さん
(石河内)



理事	津江 邦彦	田畑	伊東 俊郎	北山
	上江洲保子	向河原・立山住宅	永友 文法	白木八重
	江藤 幸夫	溜水		
監事	小野 英徳	川原	岩爪 奉士	谷内

自治公民館の活動推進に向けてご尽力いただきます。一年間、よろしくお願いいたします。

地域担当職員制度

本年度も町職員を「地域担当職員」として配置させていただき、「地域と役場のつなぎ役」「公民館の応援団」としての活動を行ってまいります。主な内容として「役場から地区への情報提供」「地区の取組、諸問題等に対する助言」「地区から役場への意見・要望の受付窓口」に取り組んでまいります。詳しくは、別紙資料をご参照ください。



自治公民館活性化に向けての応援支援事業

現在、町内には自治公民館が40館あり、それぞれの地区で神社仏閣に関する祭りをはじめ、敬老会の開催、環境美化活動など諸行事を行いながら運営が続けられています。これらの取組を通して、地区独自の行事、地区民の参画など、地域の活性化につながる取組や無理のない活動を通して転入者の加入促進を図っている取組もみられています。

一方、残念ながら地区脱退者や未加入者の目立ち始めた地区もあり、さらに新型コロナウイルス感染拡大の影響による行事の中止・延期等で、地区民相互の交流の場の減少、連帯意識の低下により自治公民館を取り巻く状況は厳しい局面を迎えているといえます。

しかしながら私たちを取り巻く状況は、日向灘でマグニチュード8クラスの大規模地震の危険性や、異常気象に伴う局所的な大雨による災害、高齢化への福祉面の支援の必要性など、自助（家庭や個人での対応）や公助（役場や警察、消防などの公的対応）だけでは対応が難しくなっています。

このようなことから教育委員会では、本年度「自治公民館活性化に向けての応援支援事業」を立ち上げ、共助（地域での連携）につながる自治公民館活性化に向けた取組を進めてまいります。皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。

【はじめまして】

「自治公民館活性化支援員」として本事業を担当させていただきます「大津 新（おおつあらた）」と申します。各自治公民館の活動取材させていただきながら、活動充実に向け応援支援させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。



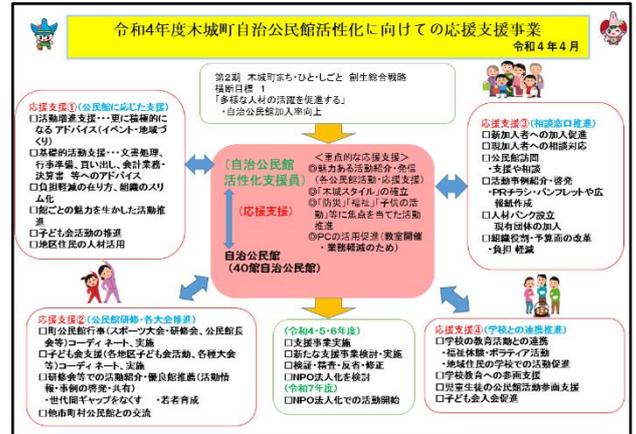
活動紹介（※毎回、自治公民館の活動を紹介させていただきます。）

元気に育て！木城っ子！

4月17日（日）比木自治公民館では、好例の「鯉のぼり立て」が行われました。新型コロナの関係で、残念ながら大々的には実施できませんでした。今日も子どもたちへの思いのこもった「鯉のぼり」が青空を堂々と泳いでいます。

（恵利教育長取材）

※活動情報がありましたら、ぜひ教育課（32-2369）へお電話ください。



4月7日宮日新聞